

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第48報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当
平成24年2月27日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形または倒卵形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント

植物プランクトンでは、黄色鞭毛藻に属するウログレナ (*Uroglena americana*) が引き続き優占種となった。体積で見ると、黄色鞭毛藻に属するサヤツナギ (*Dinobryon cylindricum*) が引き続き優占種となった。網別の体積では、黄色鞭毛藻類が総体積の約45%、珪藻類が約31%、緑藻類、褐色鞭毛藻類がそれぞれ約12%を占めた。動物プランクトンでは、繊毛虫のなかまのスナカラムシ (*Codonella cratera*) が120個体/Lで引き続き優占種となった。ピコ植物プランクトンは、輝橙色のものが7,100細胞/ml計数され、深赤色のものは計数されなかった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/1)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	120

第 2 優 占 種		個体数 (個体/1)
太陽虫類	<i>Acanthocystis</i> sp.	60

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当

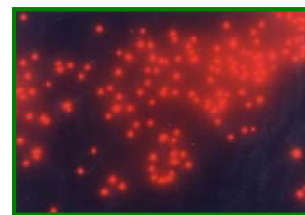
(2) 植物プランクトン

平成24年2月27日

第48報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300	◎	○
(黄鞭) <i>Dinobryon cylindricum</i>	30		◎
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	15		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	16		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	70		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	120		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	160	○	
(珪) <i>Synedra ulna</i>	8		
(珪) <i>Synedra acus</i>	2		
(珪) <i>Cymbella</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	16		
(緑) <i>Paulschlzia pseudovolvox</i>	4		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	371	45.1	44.7
(珪) 珪藻綱	370	45.0	30.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	60	7.3	12.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	22	2.7	12.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	823	総体積	5.86E+05
種 類 数	16	(μm ³)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	2月27日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	7,100

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。